



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月8日

上場会社名 株式会社ソリトンシステムズ 上場取引所 東
 コード番号 3040 URL https://www.soliton.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 三須 貴夫 TEL 03-5360-3801
 四半期報告書提出予定日 2023年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 4,670 | △3.4 | 650 | 6.9 | 700 | 2.9 | 502 | 0.1 |
| 2022年12月期第1四半期 | 4,837 | △1.1 | 609 | △37.0 | 681 | △33.0 | 501 | △31.0 |

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 477百万円 (6.2%) 2022年12月期第1四半期 449百万円 (△35.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第1四半期 | 27.12 | — |
| 2022年12月期第1四半期 | 27.10 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第1四半期 | 19,496 | 9,944 | 50.9 |
| 2022年12月期 | 19,261 | 9,615 | 49.8 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 9,928百万円 2022年12月期 9,598百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 8.00 | — | 8.00 | 16.00 |
| 2023年12月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年12月期（予想） | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-----|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,200 | △2.8 | 2,150 | 5.6 | 2,150 | △2.4 | 1,480 | △6.8 | 79.91 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期1Q | 19,738,888株 | 2022年12月期 | 19,738,888株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年12月期1Q | 1,218,887株 | 2022年12月期 | 1,218,887株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年12月期1Q | 18,520,001株 | 2022年12月期1Q | 18,509,201株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、コロナ禍からの回復に伴い個人消費は回復傾向にありますが、不安定な世界情勢、資源価格の高止まり、欧米の金融引き締め等により不透明な状況が継続しております。

IT投資の面では、部品不足が解消に向かいビジネス環境が改善し、企業や官公庁/自治体のDX（デジタルトランスフォーメーション）化や業務改革の取組みは引き続き堅調です。あらゆる業種、業務においてITの活用が定着する一方、サイバー攻撃は、増大し、被害が広がっています。そのベーシックな対策として、当社が得意とするITセキュリティの「認証」、ネットワークの分離、ビジネス情報の重要部分を日々、組織内にローカルに保存するなどの技術（商品名「VVAULT」）が注目されています。一方、高い言語処理能力を有する生成AIが世界の注目を集めています。この技術は個人情報の扱いや偏った回答になりがち、人に思考停止をもたらす可能性など、いろいろな危惧が指摘されています。しかし、応用する分野と使い方によって人類の活動、社会を大きく変革する可能性があります。この四半期後半に、社内でこの生成AIの検討に着手、いくつかの応用を構築しています。即、売上増大とはなりません、今後、可能性に挑戦していく予定です。

このような環境下、当社グループの業績について、売上高は4,670百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は650百万円（前年同期比6.9%増）、為替差益28百万円の発生等により経常利益は700百万円（前年同期比2.9%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は502百万円（前年同期比0.1%増）となっています。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

① ITセキュリティ事業

売上高は4,272百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益は895百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

前年同期のスポットの他社製品の販売が剥落し、売上高は減収となりました。しかしながら、自社製品/サービスの売上は、多要素認証の「SmartOn」で官公庁の大型案件があり、増収を継続しています。セグメント利益は、粗利率の高い自社製品/サービスの売上増収により増益となりました。サイバーセキュリティでは日米の有識者を招待し、「国家安全保障とサイバーセキュリティ」についてのフォーラムを開催しました。政府と民間企業の協調等について考察しました。

② 映像コミュニケーション事業

売上高は209百万円（前年同期比9.7%増）、セグメント損失は22百万円（前年同期はセグメント損失36百万円）となりました。

「Smart-telecaster シリーズ」について、国際会議の警護対策のレンタルやパブリックセーフティ分野（警察、消防等）への販売により売上高は増収、セグメント損失は前年同期比で減少しました。また、超短遅延の高精細画像をモニターしながら、離れた場所にある車両や機械、ロボットなどを動かす「遠隔監視/操縦」は新しい局面に移行しつつあります。自動化に必須の設備として多方面に拡販されると予想されます。一方、短遅延、高精細の技術を広くクラウド経由で利用できる新サービスの開発も進めました。

③ Eco 新規事業開発

売上高は188百万円（前年同期比119.1%増）、セグメント損失は13百万円（前年同期はセグメント損失54百万円）となりました。

官公庁から受注した小型映像伝送装置について納品を完了したことにより増収となりました。超低消費電力のアナログエッジAIチップの開発が継続しておりますが、増収効果によりセグメント損失は前年同期比で減少しました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて234百万円増加し、19,496百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて328百万円増加し、16,696百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことが主であり、前払費用が85百万円増加し、商品及び製品が70百万円増加する一方、電子記録債権が358百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて94百万円減少し、2,799百万円となりました。これは主にソフトウェア仮勘定が77百万円増加する一方、繰延税金資産が96百万円、ソフトウェアが65百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて135百万円減少し、9,440百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が133百万円増加する一方、賞与引当金が208百万円、流動負債その他が82百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて41百万円増加し、111百万円となりました。これは主にリース債務が39百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部については、前連結会計年度末に比べて329百万円増加し、9,944百万円となりました。これは主に利益剰余金が354百万円増加した一方、為替換算調整勘定が25百万円減少したこと等によるものであります。なお自己資本比率は50.9%（前連結会計年度末比1.1ポイント増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2023年2月10日に公表いたしました数値より変更ございません。連結業績予想の修正が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,199 | 10,726 |
| 受取手形 | 3 | 3 |
| 電子記録債権 | 1,006 | 647 |
| 売掛金 | 2,650 | 2,677 |
| 契約資産 | 22 | 27 |
| リース投資資産 | 25 | 72 |
| 商品及び製品 | 625 | 696 |
| 仕掛品 | 97 | 39 |
| 原材料及び貯蔵品 | 69 | 67 |
| 前払費用 | 1,323 | 1,408 |
| その他 | 365 | 349 |
| 貸倒引当金 | △21 | △20 |
| 流動資産合計 | 16,367 | 16,696 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,162 | 1,153 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 258 | 193 |
| ソフトウェア仮勘定 | 183 | 261 |
| その他 | 14 | 14 |
| 無形固定資産合計 | 457 | 469 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 94 | 94 |
| 差入保証金 | 484 | 479 |
| 繰延税金資産 | 296 | 199 |
| その他 | 399 | 403 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 1,275 | 1,176 |
| 固定資産合計 | 2,894 | 2,799 |
| 資産合計 | 19,261 | 19,496 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 934 | 1,068 |
| 短期借入金 | 133 | 74 |
| リース債務 | 17 | 25 |
| 未払金 | 521 | 574 |
| 未払法人税等 | 5 | 32 |
| 契約負債 | 7,134 | 7,151 |
| 賞与引当金 | 438 | 230 |
| 役員賞与引当金 | 23 | - |
| その他 | 366 | 283 |
| 流動負債合計 | 9,576 | 9,440 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 7 | 46 |
| その他 | 62 | 64 |
| 固定負債合計 | 70 | 111 |
| 負債合計 | 9,646 | 9,551 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,326 | 1,326 |
| 資本剰余金 | 1,403 | 1,403 |
| 利益剰余金 | 8,241 | 8,595 |
| 自己株式 | △1,333 | △1,333 |
| 株主資本合計 | 9,637 | 9,991 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10 | 12 |
| 為替換算調整勘定 | △49 | △75 |
| その他の包括利益累計額合計 | △39 | △63 |
| 非支配株主持分 | 16 | 15 |
| 純資産合計 | 9,615 | 9,944 |
| 負債純資産合計 | 19,261 | 19,496 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 4,837 | 4,670 |
| 売上原価 | 2,844 | 2,624 |
| 売上総利益 | 1,992 | 2,046 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,383 | 1,395 |
| 営業利益 | 609 | 650 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 0 | 0 |
| 為替差益 | 50 | 28 |
| 助成金収入 | 23 | 19 |
| 貸倒引当金戻入額 | 0 | 0 |
| 投資事業組合運用益 | - | 1 |
| その他 | 1 | 2 |
| 営業外収益合計 | 76 | 52 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | - | 1 |
| 投資事業組合運用損 | 2 | - |
| 訴訟和解金 | 1 | - |
| 営業外費用合計 | 3 | 2 |
| 経常利益 | 681 | 700 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | - |
| 債務免除益 | 21 | 24 |
| 関係会社清算益 | 32 | - |
| 特別利益合計 | 54 | 24 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 13 | 2 |
| 特別損失合計 | 13 | 2 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 722 | 723 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3 | 125 |
| 法人税等調整額 | 218 | 96 |
| 法人税等合計 | 221 | 222 |
| 四半期純利益 | 501 | 501 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △0 | △1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 501 | 502 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 501 | 501 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 1 |
| 為替換算調整勘定 | △53 | △25 |
| その他の包括利益合計 | △51 | △24 |
| 四半期包括利益 | 449 | 477 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 448 | 478 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | △0 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日 至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|----------|-------------|------------|-------|
| | ITセキュリティ | 映像コミュニケーション | Eco 新規事業開発 | |
| 売上高 | | | | |
| 商品・製品 | 1,935 | 41 | 45 | 2,023 |
| 保守 | 1,291 | 17 | - | 1,309 |
| クラウドサービス | 568 | 6 | 0 | 574 |
| 役務その他収益 | 764 | 124 | 40 | 930 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 4,560 | 190 | 86 | 4,837 |
| 外部顧客への売上高 | 4,560 | 190 | 86 | 4,837 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 0 | 1 | 5 | 7 |
| 計 | 4,560 | 192 | 91 | 4,845 |
| セグメント利益又は損失(△) | 883 | △36 | △54 | 792 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 792 |
| 全社費用(注) | △183 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 609 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|----------|-------------|------------|-------|
| | ITセキュリティ | 映像コミュニケーション | Eco 新規事業開発 | |
| 売上高 | | | | |
| 商品・製品 | 1,556 | 50 | 179 | 1,786 |
| 保守 | 1,311 | 11 | - | 1,323 |
| クラウドサービス | 582 | 7 | 0 | 590 |
| 役務その他収益 | 821 | 140 | 9 | 970 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 4,272 | 209 | 188 | 4,670 |
| 外部顧客への売上高 | 4,272 | 209 | 188 | 4,670 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 2 | 0 | 5 | 7 |
| 計 | 4,274 | 209 | 194 | 4,678 |
| セグメント利益又は損失(△) | 895 | △22 | △13 | 859 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|------|
| 報告セグメント計 | 859 |
| 全社費用（注） | △208 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 650 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。